

# 熊本大学医学部附属病院 リハビリテーション部 専門修練プログラム

## 1. プログラムの概略・特徴

概略：本プログラムは新医師臨床研修制度の2年間で終了した医師を対象に、リハビリテーション専門医を目指す教育プログラムです。当院は日本リハビリテーション医学会研修施設に認定されており、リハビリテーション科専門医、指導責任者も揃っており、リハビリテーション各領域において充実した研修を行うことができます。

特徴：熊本大学医学部附属病院リハビリテーション部は、中央診療部門として、全診療科からのリハビリテーションを受けています。そのため対象疾患は多岐にわたり、かつ横断的な見地からリハビリテーション対象全般に渡る研修が可能です。また整形外科(運動器)疾患の治療についてはより専門的に経験できます。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

患者を全人的に診療するために必要なリハビリテーション医学の理念と知識・技術を修得する。

### 【行動目標】

2006年度日本リハビリテーション医学会が作成した「専門医制度卒後研修カリキュラム」に沿って行う。

1. 人体各器官の構造と機能を理解する
2. リハビリテーション医学に関連する病態および疾病の診断・治療と臨床検査
3. 機能・形態障害の評価ができる
4. 活動とその制限に関わる要因の評価ができる
5. 社会参加とその制約に関わる要因の評価ができる
6. 理学療法、作業療法、言語聴覚療法等の各種リハビリテーション治療を理解し処方できる
7. 補装具(義肢、装具、車いす等)の処方と適合判定および関連する福祉機器の理解ができる
8. 包括的リハビリテーションプランの作成ができる
9. 医療、福祉に関わる各種専門職とのチームワークを築くことができる
10. リハビリテーション医療に関わる制度と社会資源を理解できる
11. 患者および患者家族との良好なコミュニケーションを計れる
12. 診療記録、リハビリテーション処方箋、総合実施計画書等の文書を遅滞なく記載できる

## 3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目(以下スケジュール以外でも、多彩な進路選択が可能である)

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学院	留学				
B	大学病院	関連施設	大学院	関連施設				
C	大学病院	関連施設	大学院	大学病院				
D	大学病院	関連施設	関連施設		大学病院			
E	関連施設	大学病院	関連施設		関連施設			

#### 4. 評価

各施設において必要とされる全ての分野にわたる研修を行い、当該年度の研修内容をリハビリテーション卒後研修記録に記録し、各研修施設の指導責任者(リハビリテーション科専門医)が評価を行います。研修終了時に認定臨床医さらにリハビリテーション科専門医資格取得をもって研修の評価とします。

#### 5. 募集人員

2名程度

#### 6. 実施責任者

水田博志 (熊本大学大学院医学薬学研究部運動骨格病態学分野・教授)

#### 7. 指導責任者

大串 幹 (熊本大学医学部附属病院リハビリテーション部・助教)

#### 8. 関連施設、学会認定状況

これまでの実績 (県外施設としては)

東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部

産業医科大学リハビリテーション医学講座

国立病院機構東京病院 リハビリテーション科

国立精神・神経センター リハビリテーション科 など

以上、全て日本リハビリテーション医学会が認定した研修施設です。

#### 9. その他

日本リハビリテーション医学会認定臨床医もしくはリハビリテーション科専門医の資格は、リハビリテーション施設基準：疾患別リハ（脳血管疾患等リハ、運動器リハ、呼吸リハ、心大血管リハ）およびがんリハ施設基準取得においてリハ専任医の資格条件になります。

進路としては、全国の大学病院、県下のリハビリテーション病院、リハビリテーション施設の勤務医や、開業医として全人的医療が行え、かつ医療介護福祉に明るい、優れた「かかりつけ医」として、地域医療へ貢献することができます。また大学その他の研究施設、リハ関連職種養成教育機関で活躍する医師もいます。

#### 10. 連絡先

大串 幹 (熊本大学医学部附属病院リハビリテーション部)

TEL : 096-373-7084 FAX : 096-373-7083 E-mail : miki-oogushi@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp